ROTARY CLUB OF FUJIMI
富士見ロータリークラブ週報

第2180回例会　令和　2年12月18日(金)

【卓話:大澤　誠会員】

2021－1－29発行

2020～2021年度

国際ロータリー会長ホールガー・クナーク
『ロータリーは機会の扉を開く』

第2570地区　ガバナー　相原茂吉
『友達をつくろう』

ロータリーは機会の扉を開く

【会　長】星野信吾
【副会長】山城　盛
【幹　事】島田敏郎
【ＳＡＡ】浅見隆広

【点　鐘】　会長　星野信吾会員
【斉　唱】　ロータリーソング「奉仕の理想」

【会長の時間】　会長　星野信吾会員

皆さんこんにちは。本日もこうして例会という場で、会員の皆さんとお会いできることに感謝したいと思います。

今年もいよいよ残すところ二週間を切りました。本日の例会が上期最後の例会となるわけですが、会長挨拶の中で、毎回のように例会で新型コロナの事を取り上げた話をしてきました。

残念ながら上期は、新型コロナに始まり、新型コロナで終わる年になってしまいました。

14日、毎年恒例となっている日本漢字能力検定協会による今年の漢字一文字が発表され「密」という字に決まりました。今年の世相を反映する一文字ですが、コロナによる三密の密であり、政治が密室で決められている等の意味から全体の約14%を占め決まったようです。因みに2位はコロナ禍の「禍」、現在映画でヒットしている鬼滅の刃の「鬼」は9位でした。

現在も新型コロナウイルスの感染拡大を受け、第一波、第二波以上に第三波の影響は大で全国で感染者数がこの一ヵ月で急激に増えています。

11月20日の例会挨拶の中で、富士見市の感染者数が100人を超えましたとお話ししましたが、現在は250人に迫り、感染者数が市内の初感染から11月末で100人だったのが、この一ヵ月で150人増に達しようとています。感染者数の増加要因については諸説いろいろありますが、確実に増加しているのは事実です。会員の皆様も外での飲食等は基準を守り、気をつけていただきたいと思います。

政府は14日、更なる感染拡大を防ぐため、今月28日から来月11日迄の間、GO,TOトラベルの利用を年末・年始全国で中止と決定しました。

第１波、第2波、そして年末に来ての第3波の影響は大で様々な業態に影響が出ています。

特に飲食業を営んでいる方は、忘年会・新年会が軒並み中止となり、死活問題になっているという話を伺っています。私自身も12月の忘年会ゼロというのは50年ぶりではないでしょうか。

複数の事業者の方にお話をお伺いしたところ、対前年比50%減、30%減という事を言われていました。いかに今回のコロナの感染拡大が地方や日本経済に与える影響が大きいかが伺えると思います。

この影響は各自治体の市税収入にも大きく現れてくると思います。既にお隣新座市では、財政の緊急事態宣言が出され、27億円とも言われている財源不足のために、事業の縮小や先送り、人件費等の節減の検討を始めているという事が新聞に掲載されているのはご存じかと思います。

また、今月15日の読売埼玉版には、狭山市議会が12月議会最終日に議員提案により令和3年度の財政事情を考慮し、政務活動費を10月から半年分を削減する議員提出議案を全会一致で可決という記事が出ていました。

コロナ禍による経済の停滞により、令和3年度以降様々な影響が多方面に出てくるものと思われます。ワクチンの安全性が早い段階で担保され、新型コロナが終息し、経済が好転することを願うばかりです。

次に、年次総会において冒頭確認を忘れた件があります。指名委員会報告の前に行う定足数の確認です。皆さんのお手元にある会報には記載させていただきました。12月4日の例会は、正会員40名中26名の出席ですので、細則第5条第3節の3分の１を上回っています。依って本総会が成立したことを報告いたしますと記載させていただきました。

事後報告になりますが宜しくお願いいたします。

最後にお願いが御座います。当クラブでは、2011年から10年連続で米山記念奨学生のホストを受けております。これまでに延べ14名の奨学生を受け入れて参りした。そのような事から、毎年この時期になると5名前後の方のご寄付をお願いさせていただいております。また、併せてロータリー財団への寄付もお願いしております。

このような厳しい環境の折恐縮ではありますが、大坪財団委員長、斎藤米山委員長へご連絡を頂ければ幸いです。

尚、後日ご寄付のお願いのご連絡をさせていただいた折にはご協力の程宜しくお願いいたします.

さて、本日の卓話ですが、長く特定郵便局、日本郵政で活躍されてこられました、富士見ロータリークラブの会員でもある大澤誠さんの卓話を予定しています。大澤会員宜しくお願いいたします。

【幹事報告】幹事　島田敏郎会員

1)例会変更の件

1. 和光ＲＣ
　12月　7日　例会・理事会
　　年次総会
　　14日　例会
　　23日　新座こぶし
　　ロータリークラブ様と合同例会
　　30日　例会取止め
　1月　4日　取止め
　　11日　取止め
　　18日　新年例会

2. 当クラブ
　12月25日(金)⇒定款による例会取止め
　1月　1日(金)⇒祝日につき休会
　　8日(金)⇒法定休会
　　15日(金)⇒法定休会
　　22日(金)⇒夜間移動例会　点鐘18:30
　　卓話　富士見市総合政策部
　　(第6次基本構想)
　　ピアザ☆ふじみ２Ｆ多目的ホール１～3
　　29日(金)⇒通常例会12:30　例会場
　　卓話　職業奉仕委員会担当
　2月　5日(金)⇒点鐘12:30　例会場
　　卓話　講師　筑波ダイガスト相談役
　　増渕茂磨氏
　　12日(金)⇒卓話　講師依頼中
　　19日(金)⇒移動例会にて休会
　　23日(火)⇒第2ＧＩＭ　点鐘13:30
　　朝霞市民文化会館大ホール
　　26日(金)⇒夜間例会　会員増強例会
　　点鐘18:30
　　担当　会員増強委員会、戦略計画委員会
　　ピアザ☆ふじみ2Ｆ多目的ホール１～3

2)次の書類を回覧します

1. RI2570地区｛ライラ大会中止のお知らせ｝
2. ハイライトよねやまｖｏｌ249
3. 疾病予防と治療月間リソースのご案内
4. ロータリーの友から事業報告
5. 2021年台北国際大会のご案内資料
　(参加会員にはメール済み)
6. バギオ基金のご案内と事業報告書
7. 志木、新座ＲＣ会報

【委員長報告】

〇公共イメージ委員会⇒委員長　尾崎孝好会員
ロータリーの友12月号

横組
〇会長メッセージ
・ロータリーが今年、以前にもまして強固になったことを物語るストーリーとして、二人のロータリアンの話が紹介されている。
(オンラインを活用と対面の併用との例会開催)
〇Ｐ12～
・前号に引き続き、国内ロータリークラブに与えた影響について、アンケート調査の結果に基づき、会員の増減、会員維持の工夫、クラブの懸案事項などについて紹介されている。
〇Ｐ17（下段）
・クラブへの支払いはキャッシュレス決済で(東京紀尾井町ＲＣ)
(ニコニコボックスの支払いなどにも併用)
縦組
〇P4～・環境中の有害物質の健康に与える影響
(2520地区第6分区IM記念講演要旨)かくたこども&アレルギークリニック院長　角田和彦先生
・現在、一番注目されるアレルギーは香料
・香りを長持ち永持ちさせるために使われている、ポリウレタンのマイクロカプセル、スギ花粉よりも小さく、これに使われている物資が「イソシアネート」
・洗濯時、柔軟剤などをキャップ1杯入れると(8割下水→環境汚染、残り2割が洗濯物に付着)
・アトピーがひどい人は、「イソシアネート」が原因の一つになっている人がいる。
・児童全体の6.5%に発達障害の可能性があり、05年から15年で2倍
・人は胎児期に科学物質の影響を最も受ける。
(思春期までに気をつける)
・殺虫剤に使われる「ネオニコチノイド」の影響もあるが、日本では許容濃度が高い。
・グリホサードという除草剤も問題となっている。
・科学物資の害は軽減させ、老化を遅らせる方法

→お茶、漬物、みそ汁、ご飯という日本の食文化
→煮るか、蒸す。
焼き餃子より水餃子、バタートーストよりおむすび、目玉焼きより茶わん蒸し
※ポテトチップスは要注意食品
・自然な体の反応に逆らわず、きれいな空気と水と体にあった食べ物
〇P20～ロータリーアットワーク
・各クラブの取組が紹介されている。

【出席報告】吉原孝好会員

12月18日	正会員数	免除会員	出席率
会員数	40名	10名	修正75.6%
出席数	18名	5名	65.7%

【ニコニコＢＯＸ】吉原孝好会員

星野会長、島田幹事、秋元、隈川、柳田、山城会員
浅見、尾崎孝、桑原、下山、萩原、羽石、深谷会員
横田昌、吉野、吉原会員
今年１年お世話になりました。
大澤 誠会員
卓話、お世話になります。
星野会長、島田幹事、秋元、隈川、柳田、山城会員
浅見、尾崎孝、桑原、下山、萩原、羽石、深谷会員
松本伸、横田昌、吉野、吉原会員
大澤 誠会員、卓話宜しくお願い致します。
深谷雅良会員
昨日、母親の49日忌無事終わりました。
皆様には大変お世話になりました。
深谷雅良会員
栗原先生には大変お世話になりました。
1週間の入院生活有難うございました。
羽石 隆会員
前回欠席しました。
竹内英明会員
遅刻しました。　　合計￥50,000

【卓　　話】大澤　誠会員

間もなく郵便創業150周年を迎える郵政事業だが、時代の変化に応じて組織など、形態を変えつつも、守るべきものは守りながら対応してきた。直近では、かんぽ生命の不適正募集問題で、多くのお客さまにご迷惑をおかけするような事案が発生。現在は、外部専門家の助言をいただきながら全役職員がグループ一丸となって、創業の原点に立ち返り、お客様の不利益解消と信頼回復の為の活動に全力で取り組んでいる。

（郵政事業の沿革（民営化迄））

〇1868年、江戸幕府が崩壊し、明治政府が成立。そして、日本の通信制度も近代化の歩みをスタートすることになる。その頃の書状のやり取りは、江戸時代に始まった飛脚制度が継続していた。
〇1871年(明治4年)、当時、政府の役人であった前嶋蜜氏の発議により、東京・大阪間(東海道筋)で官営の郵便事業が開始された。
〇1871年の創業当初は三府（東京・京都・大阪）に政府直轄の「郵便役所」が設置され、東海道の各宿駅には民間の協力で62か所の「郵便取扱所」を設置した。その後、明治政府は全国の主要都市に「郵便役所」を設置したが、財政が極めて不足しており、全国に「郵便役所」を設けることは難しかった。
〇1872年(明治5年)郵便の全国ネットワーク完成
〇1873年(明治6年)郵便料金の全国均一制実施、郵便はがきの発行開始
〇1875年(明治8年）郵便役所、郵便取扱書を「郵便局」と改称、郵便為替、郵便貯金創業
〇1877年(明治10年）万国郵便連合に加盟
〇1885年(明治18年）　逓信省発足
〇1887年(明治20年）逓信省のマークとし「〒」を制定
〇1894年(明治27年）最初の記念切手発行
〇1899年(明治32年)年賀郵便の特別取扱開始(関東大震災のあった1923年(大正12年）と太平洋戦争前後の1940年（昭和15年）～1947年（昭和22年）は取扱停止)
〇1901年（明治34年）赤い郵便ポスト登場
〇1916年（大正5年）簡易保険創業
〇1928年（昭和3年）国民保険体操（ラジオ体操）の開始
〇1949年（昭和24年）郵政省発足
〇2001年（平成13年）郵政事業庁発足
〇2003年（平成15年）日本郵政公社発足

郵政事業の沿革（民営化以降）

〇2007年（平成19年）日本郵政グループ発足
＊日本郵政（株）、郵便事業（株）、郵便局(株)（株）ゆうちょ銀行、(株）かんぽ生命保険の**5体制**
〇2012年（平成24年）郵便事業（株）と郵便局（株）が統合し**日本郵便（株）が発足。4社体制へ**
〇2015年（平成27年）日本郵政（株）、(株）ゆうちょ銀行、（株）かんぽ生命保険が東京証券取引所市場第一部に**株式を上場**
（日本郵政グループの経営体制）
（デジタル技術を活用した郵便・物流）
労働力が不足する中で、今後も安定的で持続可能な郵便・物流サービスの提供を実現するため、ドローン、配送ロボット、自動運転などの新技術を活用した取り組みを行っている。
＜自動運転＞
〇2019年には、新東京郵便(東京都）局の構内で、運転手が乗車しない完全無人の「レベル４」の実験を行った。
＜ドローン＞
〇ドローンによる配送実験を実施し、安全性等を確認。2018年には福島県南相馬市及び双葉郡浪江町において、郵便局間の配送を実施。2020年3月には、東京都多摩市で山間地の個人宅あての配送を実施した。
＜配送ロボット＞
〇配送ロボットについても、同様に繰り返し実験を実施。ロボットが、周辺状況を認識し、自律的に目的地に移動する。ロボットの内部に荷物を積載しており、ラストワンマイルまで対応。
〇また，お客さまからの「自宅宛て再配達のお申込み」に、AIが自動的に音声対応する電話受付を11月1日(日)から開始した。
〇郵政グループのCSRの重点課題として、国内外の地域社会の発展・活性化のために、そして、誰もが安心して暮らせる、持続可能な社会のために様々な取組みをしている。
〇日本郵便では、外国人のお客さまに安心して郵便局をご利用いただけるよう、2018年4月から、全国約2万か所の郵便局で、タブレット端末を用いた多言後翻訳アプリの使用を開始。

（郵便局ネットワークの活用事例）

〇地方公共団体の合併や支所の減少が進む中、一部の郵便局の窓口において、地方公共団体から委託を受けて、戸籍謄本や住民票の写しなど各種証明書の交付、公営バス回数券の販売などの事務を実施している。2020年3月現在、約254の地方公共団体から事務を受託し、約4,000カ所の郵便局で実施している。2019年7月からは、全国初の取組として、長野県泰阜(やすおか）村役場の支所窓口業務を包括的に受託し、村内の温田(ぬくだ)郵便局窓口で行政サービスの提供を始めた。
〇このほかにも、社会背景や事業性を勘案し、子育て支援および高齢社会に配慮した不動産事業を推進している。これまでに、待機児童の解消が求められている昨今の状況を踏まえ、社宅跡地も5棟の保育所を建設し、保育事業に賃貸。また、高齢社会に対応した高齢者施設3棟（介護付き有料老人ホーム2棟、サービス付き高齢者向け１棟）建設し、介護事業者に賃貸している。

【お礼】会長　星野信吾会員

大澤会員、卓話、有難うございました。
私は令和2年を総括して「空白」の一年だったと思っています。令和3年こそ、実りの多い年にと願いたいものです！下期最初の例会は、1月22日今年度初の夜間例会になります。点鐘は6時30分です。場所はふじみ野駅東口、ピアザ・ふじみ２階多目的ホールです。次回例会日まで一ヵ月以上空きますが、22日、会員皆様の元気な姿を拝見したいと思います。会員皆様にはお身体にご自愛いただき、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えください。
上期のご協力ありがとうございました。
そして、下期も宜しくお願いいたします。

【点鐘】会長　星野信吾会員

例会日　毎週金曜日
時　間　12:30～13:30
事務所　〒354－0022
富士見市山室2－10－10　島田ビル201号
電　話　049－251－6596　FAX049－252－3848
例会場　島田ビル1F
Eメール　fujimi-rc@nifty.com

会報・IT委員会　　週報担当:萩原喜八郎
委員長:萩原喜八郎　副委員長:涌井英樹
委　員:長根章浩